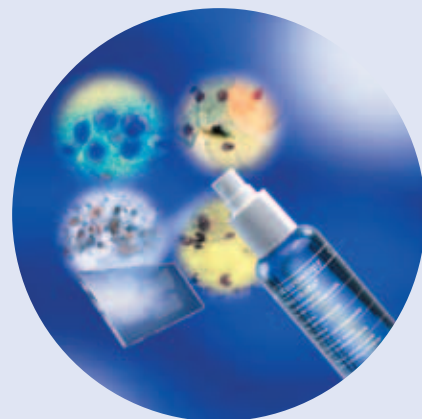


細胞診用スプレー式固定剤

Merckofix[®] メルコフィックス

エタノールを主成分とする細胞診用迅速固定液で、ガス（フロン、LPG、他）を含まない環境にやさしいスプレー式固定剤です。



特長

優れたエアロゾル粒子により、迅速かつ効果的な固定ができ、尿、体腔液など液状検体の固定に最適です。

エタノールが主成分なので、ルーチン固定液の 95% アルコールと同じ固定効果が得られ、細胞の形態的特徴が最適に保持されます。また、内膜細胞診用固定液としても有用です。

ポリエチレングリコールの膜が迅速にスメアを被うので、保存や輸送中のスメアを安全に保護します。

フロンガス不含のため、人体および環境に無害です。

詰替え可能なので、大変経済的です。

メルコフィックスの使用法

メルコフィックスはスプレー固定剤で、エタノールとポリエチレングリコール（PEG）を含む水溶液です。湿潤状態のスライド上に手早く簡単に噴霧することができ、噴霧後は薄く均一な膜を作って塗抹標本を固定し、細胞の乾燥を防止します。

メルコフィックススプレー固定液中に含まれるエタノールは蒸発し、検体上にはポリエチレングリコールの保護膜が残ります。約 10 分後には、染色、スメアの保存や追加処理のための輸送が可能となります。この方法で調製した検体は、数週間安定です。

染色時には、ポリエチレングリコールを除去するため、検体をまず蒸留水または 50% エタノール中に約 10 秒間浸漬するよう注意して下さい。パパニコロウ法のヘマトキシリン染色段階前の下降アルコール系列は省略可能です。



① 常法にしたがいスメアを作製後、塗抹細胞がウェットの状態のまま直ちに②のスプレー操作に入ります。

② スメアから約 20 cm 離し（細胞が損なわれるのを防ぐため）、約 45 度にスプレーを傾けて約 3 回噴霧します。

③ スメアを 10 分間放置し乾燥させた後、染色操作に入ります。

使用上のポイント

- 塗抹後、細胞がウェットのまますぐ固定液をスプレーすることが良い標本作製に重要です。誤って細胞を乾燥させると、染色に影響し、またクロマチンパターンが得られなくなります。
- スプレーは塗抹面に十分行ってください。スプレーが不十分ですと固定ムラの原因になります。
- メルコフィックス固定標本は約 3 週間安定で、保存可能です。

- 染色操作に入る前に、スメアを蒸留水又は約 50% アルコールに浸し、細胞表面上のポリエチレングリコールの被膜を除去してから染色操作に進んでください。本操作をせずに直接染色に入ると、色素の浸透が阻害され、薄い染まりや染色ムラの原因になります。
- スプレーのノズルが目詰まりした場合は、析出物を取り除くか、又はノズル部分を洗浄してからご利用ください。

メルコフィックス レフィル メルコフィックス 詰め替え用

メルコフィックス（スプレー）の詰め替え用として便利です。またピペット等を用いて固定液をスメアへ滴下する滴下方式固定液としても有用です。滴下方式ですと、より十分な量の固定液が塗抹面を覆い、細胞が損なわれることなく、また固定ムラのない良好な固定が可能です。



製品情報

製品名	注文番号	包装単位
メルコフィックススプレー（スプレー容器入り）	1.03981.0101	100 mL
メルコフィックスレフィル（詰め替え用、滴下方式）	1.03981.1000	1 L

メルク製品の最新情報はこちらから >> www.merck-chemicals.jp

本紙記載の製品構成は 2010 年 4 月 1 日現在のものです。
諸般の事情により予告なく変更となる場合がありますので、あらかじめご了承ください。

メルク株式会社

パフォーマンス・ライフサイエンス化学品事業部
〒153-8927
東京都目黒区下目黒1-8-1 アルコタワー5F
MS09-1007-1000

Tel: 0120-189-390 / Fax: 0120-189-350
E-mail: service@merck.co.jp
<http://www.merck-chemicals.jp>